



日頃より当薬局をご利用いただきましてありがとうございます。深く感謝いたします。

本年も昨年同様よろしくお願い致します。

当薬局は、地域の「かかりつけ薬局」として、在宅で療養中の患者さん及び地域の小規模施設(有料老人ホームやグループホームなど)に入所中の方に対して、介護保険制度に基づき患者さんのお薬の持参・管理・支援の為に「薬剤師の訪問業務」を行っております。

また、外来通院中の方で介護・福祉サービスが有用と思われる方においても、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャー、行政の介護・福祉機関とも連携をとり各種サービスの紹介や取り次ぎを行います。

詳細は、当薬局スタッフにお尋ねください。

東町わたや薬局一同

お屠蘇についての豆知識

お屠蘇の語源には様々ありますが、一説には、「蘇(悪鬼の意)」を「屠(ほふる:切つてばらばらにする意)」ことから屠蘇と呼ばれ、元日の朝にお屠蘇を飲むことで邪気が払われ、一年の無病息災が叶うとされています。

お屠蘇に使用される屠蘇散には5~10種類の生薬が配合されています。お屠蘇の特徴的な香りはそれらの生薬によるものです。主に使用される生薬は以下のとおりです。

- ・白朮(ビャクジュツ) 健胃、整腸、利尿の効果がある。
- ・山椒(サンショウ) 腹痛や下痢、嘔吐を抑え、胃の調子を整える効果がある。
- ・桔梗(キキョウ) 止咳、去痰、排膿の効果がある。
- ・肉桂(ニッケイ) 発汗、健胃の効果がある。
- ・防風(ポウフウ) 発汗、解熱、鎮痛の効果がある。
- ・陳皮(チンピ) 健胃、去痰、理気の効果がある。



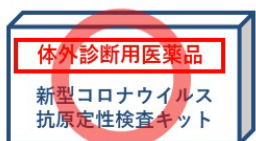
含まれる生薬からも分かるように、本来このお屠蘇は、冬場にかかりやすい風邪などの感染症や胃腸障害の予防・治療の目的があります。お酒の飲み過ぎには注意しつつ今年一年健康に過ごしましょう！

新型コロナの抗原定性検査キットは「医療用」または「一般用」をご使用ください

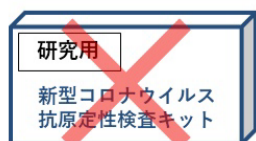
家庭等において、体調が気になる場合等にセルフチェックとして自ら検査するために用いる「新型コロナウイルス感染症抗原定性検査キット」(以下「検査キット」)には、「医療用」と「一般用」の2種類あり、いずれも厚生労働省が承認した「医薬品」(体外診断用医薬品)です。薬局又は店舗販売業(いわゆるドラッグストア)で購入することができます。

検査キットの種類(見分け方)	業種	購入場所(※2)
医療用検査キット (外箱に「体外診断用医薬品」と記載)	薬局	実店舗
一般用検査キット (外箱に「第1類医薬品」と記載)	薬局 店舗販売業	実店舗(一部の店舗では、インターネット等でも購入できます。)

雑貨店やネットショップ等で「研究用」と称して販売されている検査キットは、厚生労働省が承認した医薬品ではありません。「研究用」は、新型コロナウイルス感染の有無を調べることを目的としたものではないので、研究用の抗原定性検査キットで陽性となっても陽性者登録等はできません。



・購入時に薬剤師から使い方などについて説明があります。



・「医薬品」との表示はありません

(注) ○×は承認の有無を示します。

糖尿病の研修会を受講しました

12月7日に行われた鳥栖・三神地区の糖尿病のWeb研修会に参加しました。

今回の研修会は歯科の先生に「糖尿病と歯周病の関係」を中心にお話しいただきました。

「人は歯が悪いと食べやすいものを食べる傾向があり、炭水化物の摂取が増え、糖尿病のリスクになる」「糖尿病になると免疫力の低下により口腔内の細菌が繁殖しやすくなり歯周病になりやすくなる」というお話があり、糖尿病と歯科は切っても切れない関係にあるとあらためて感じました。

最近では、歯周病の治療によりインスリン抵抗性(インスリンが効きにくくなること)が改善し、血糖コントロールが改善するというデータもあるようです。

また、先生によると、糖尿病がない方のメンテナンス(治療ではない定期的な受診)は半年に1回程度、糖尿病の方は歯の治療中でなくても2~3ヶ月に1回はメンテナンスに受診したほうがいいということでした。



ヒートショックに要注意！

ヒートショックとは？

気温、温度の変化によって血圧が激しく上下し、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの心臓や血管の疾患が起こることをヒートショックと言います。入浴中の死亡者数は年間1万9千人いるとも推計され、お風呂で多くの方が亡くなっていることが分かります。これには転倒等の理由も含まれていますが、気温が下がる冬場には、入浴中の死亡数はその他の時期と比べて何倍にもなっていることから、入浴事故には、ヒートショックの影響が大きいと推測することができます。

11月～2月までの時期はヒートショックの好発時期と言われています。

ヒートショックを起こしやすい人

- 病歴、持病
狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞、不整脈、高血圧、糖尿病
- 年齢 65歳以上
- 習慣
・一番風呂に入る
・熱いお風呂(42℃以上)に入る
・飲酒後にお風呂に入る
- 環境
・浴室、脱衣所、トイレに暖房がない
・浴室がタイル張りで窓がある
・居間と浴室が離れている



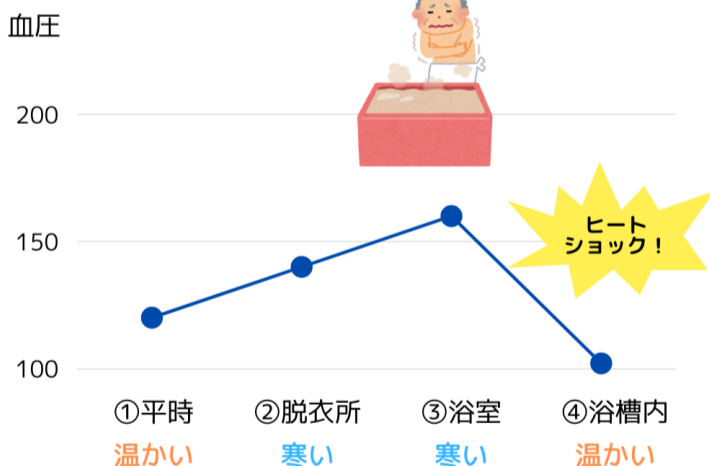
ヒートショックが起きるしくみ

ヒートショックは冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所に移動し、浴槽に入るときなどに起こります。

平時に血圧が安定している人でも①、リビングから脱衣所に移動した際には、寒さに対応するために**血圧が上昇**し②、衣服を脱ぎ、さらに寒い浴室へ入ると**血圧はさらに上昇**します③。

そのまま浴槽に入ると、急に身体が温まるため**血圧が下降**しヒートショックを引き起こします④。

特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており、注意が必要です。



ヒートショックを予防するために

- 脱衣所、浴室を温める
暖房器具を使用して脱衣所や浴室を温めるようにしましょう。タイル張りの浴室の場合はスノコやマットを使用しましょう。
- お風呂の温度を低めにする
41℃以上になると浴室での事故が増えると報告されています。38～40℃に設定して入浴し、徐々に温めるようにしましょう。
- ゆっくりお風呂から出るようにする
お風呂に浸かり温まっている時は血圧が低下しているので急に立ち上がるとめまいや立ちくらみを起こすことがあります。ゆっくり立ち上がるよう心がけましょう。
- 入浴前後に水分を補給する
入浴して汗をかくと体内の水分が減り血液が濃縮されるため心疾患や脳血管疾患を起こしやすくなります。入浴前後に水分をとるようにしましょう。



東町わたや薬局

電話番号 **0942-81-3039** 時間外連絡先 080-8362-4585

住所 佐賀県鳥栖市東町1丁目1020

営業時間 月～金曜 9:00～18:00 土曜 9:00～13:00

定休日 日曜日、祝日



わたや薬局だより



日頃より当薬局をご利用いただきましてありがとうございます。深く感謝いたします。

本年も昨年同様よろしくお願い致します。

当薬局は、地域の「かかりつけ薬局」として、在宅で療養中の患者さん及び地域の小規模施設(有料老人ホームやグループホームなど)に入所中の方に対して、介護保険制度に基づき患者さんのお薬の持参・管理・支援の為に「薬剤師の訪問業務」を行っております。

また、外来通院中の方で介護・福祉サービスが有用と思われる方においても、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャー、行政の介護・福祉機関とも連携をとり各種サービスの紹介や取り次ぎを行います。

詳細は、当薬局スタッフにお尋ねください。

わたや薬局一同

お屠蘇についての豆知識

お屠蘇の語源には様々ありますが、一説には、「蘇(悪鬼の意)」を「屠(ほふる:切つてばらばらにする意)」ことから屠蘇と呼ばれ、元日の朝にお屠蘇を飲むことで邪気が払われ、一年の無病息災が叶うとされています。

お屠蘇に使用される屠蘇散には5~10種類の生薬が配合されています。お屠蘇の特徴的な香りはそれらの生薬によるものです。主に使用される生薬は以下のとおりです。

- ・白朮(ビャクジュツ) 健胃、整腸、利尿の効果がある。
- ・山椒(サンショウ) 腹痛や下痢、嘔吐を抑え、胃の調子を整える効果がある。
- ・桔梗(キキョウ) 止咳、去痰、排膿の効果がある。
- ・肉桂(ニッケイ) 発汗、健胃の効果がある。
- ・防風(ポウフウ) 発汗、解熱、鎮痛の効果がある。
- ・陳皮(チンピ) 健胃、去痰、理気の効果がある。



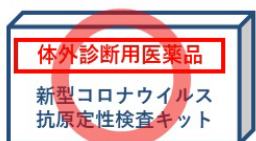
含まれる生薬からも分かるように、本来このお屠蘇は、冬場にかかりやすい風邪などの感染症や胃腸障害の予防・治療の目的があります。お酒の飲み過ぎには注意しつつ今年一年健康に過ごしましょう！

新型コロナの抗原定性検査キットは「医療用」または「一般用」をご使用ください

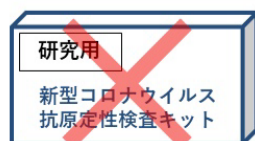
家庭等において、体調が気になる場合等にセルフチェックとして自ら検査するために用いる「新型コロナウイルス感染症抗原定性検査キット」(以下「検査キット」)には、「医療用」と「一般用」の2種類あり、いずれも厚生労働省が承認した「医薬品」(体外診断用医薬品)です。薬局又は店舗販売業(いわゆるドラッグストア)で購入することができます。

検査キットの種類(見分け方)	業種	購入場所(※2)
医療用検査キット (外箱に「体外診断用医薬品」と記載)	薬局	実店舗
一般用検査キット (外箱に「第1類医薬品」と記載)	薬局 店舗販売業	実店舗(一部の店舗では、インターネット等でも購入できます。)

雑貨店やネットショップ等で「研究用」と称して販売されている検査キットは、厚生労働省が承認した医薬品ではありません。「研究用」は、新型コロナウイルス感染の有無を調べることを目的としたものではないので、研究用の抗原定性検査キットで陽性となっても陽性者登録等はできません。



・購入時に薬剤師から使い方などについて説明があります。



・「医薬品」との表示はありません

(注) ○×は承認の有無を示します。

糖尿病の研修会を受講しました

12月7日に行われた鳥栖・三神地区の糖尿病のWeb研修会に参加しました。

今回の研修会は歯科の先生に「糖尿病と歯周病の関係」を中心にお話しいただきました。

「人は歯が悪いと食べやすいものを食べる傾向があり、炭水化物の摂取が増え、糖尿病のリスクになる」「糖尿病になると免疫力の低下により口腔内の細菌が繁殖しやすくなり歯周病になりやすくなる」というお話があり、糖尿病と歯科は切っても切れない関係にあるとあらためて感じました。

最近では、歯周病の治療によりインスリン抵抗性(インスリンが効きにくくなること)が改善し、血糖コントロールが改善するというデータもあるようです。

また、先生によると、糖尿病がない方のメンテナンス(治療ではない定期的な受診)は半年に1回程度、糖尿病の方は歯の治療中でなくても2~3ヶ月に1回はメンテナンスに受診したほうがいいということでした。



ヒートショックに要注意！

ヒートショックとは？

気温、温度の変化によって血圧が激しく上下し、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの心臓や血管の疾患が起こることをヒートショックと言います。入浴中の死亡者数は年間1万9千人いるとも推計され、お風呂で多くの方が亡くなっていることが分かります。これには転倒等の理由も含まれていますが、気温が下がる冬場には、入浴中の死亡数はその他の時期と比べて何倍にもなっていることから、入浴事故には、ヒートショックの影響が大きいと推測することができます。

11月～2月までの時期はヒートショックの好発時期と言われています。

ヒートショックを起こしやすい人

- 病歴、持病
狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞、不整脈、高血圧、糖尿病
- 年齢 65歳以上
- 習慣
・一番風呂に入る
・熱いお風呂(42℃以上)に入る
・飲酒後にお風呂に入る
- 環境
・浴室、脱衣所、トイレに暖房がない
・浴室がタイル張りで窓がある
・居間と浴室が離れている



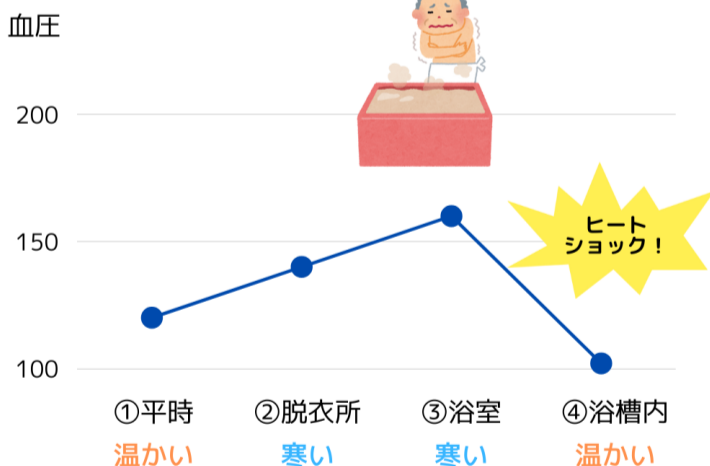
ヒートショックが起きるしくみ

ヒートショックは冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所に移動し、浴槽に入るときなどに起こります。

平時に血圧が安定している人でも①、リビングから脱衣所に移動した際には、寒さに対応するために**血圧が上昇**し②、衣服を脱ぎ、さらに寒い浴室へ入ると**血圧はさらに上昇**します③。

そのまま浴槽に入ると、急に身体が温まるため**血圧が下降**しヒートショックを引き起こします④。

特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており、注意が必要です。



ヒートショックを予防するために

- 脱衣所、浴室を温める
暖房器具を使用して脱衣所や浴室を温めるようにしましょう。タイル張りの浴室の場合はスノコやマットを使用しましょう。
- お風呂の温度を低めにする
41℃以上になると浴室での事故が増えると報告されています。38～40℃に設定して入浴し、徐々に温めるようにしましょう。
- ゆっくりお風呂から出るようにする
お風呂に浸かり温まっている時は血圧が低下しているので急に立ち上がるとめまいや立ちくらみを起こすことがあります。ゆっくり立ち上がるよう心がけましょう。
- 入浴前後に水分を補給する
入浴して汗をかくと体内の水分が減り血液が濃縮されるため心疾患や脳血管疾患を起こしやすくなります。入浴前後に水分をとるようにしましょう。



わたや薬局

電話番号 **0942-82-3283** 時間外連絡先 080-8362-4585

住所 佐賀県鳥栖市弥生が丘2丁目20

営業時間 月、火、水、金、土曜日 9:00～19:00 木曜日 9:00～17:00

定休日 日曜日、祝日





日頃より当薬局をご利用いただきましてありがとうございます。深く感謝いたします。

本年も昨年同様よろしくお願い致します。

当薬局は、地域の「かかりつけ薬局」として、在宅で療養中の患者さん及び地域の小規模施設(有料老人ホームやグループホームなど)に入所中の方に対して、介護保険制度に基づき患者さんのお薬の持参・管理・支援の為に「薬剤師の訪問業務」を行っております。

また、外来通院中の方で介護・福祉サービスが有用と思われる方においても、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャー、行政の介護・福祉機関とも連携をとり各種サービスの紹介や取り次ぎを行います。

詳細は、当薬局スタッフにお尋ねください。

会営薬局一同

お屠蘇についての豆知識

お屠蘇の語源には様々ありますが、一説には、「蘇(悪鬼の意)」を「屠(ほふる:切ってばらばらにする意)」ことから屠蘇と呼ばれ、元日の朝にお屠蘇を飲むことで邪気が払われ、一年の無病息災が叶うとされています。

お屠蘇に使用される屠蘇散には5~10種類の生薬が配合されています。お屠蘇の特徴的な香りはそれらの生薬によるものです。主に使用される生薬は以下のとおりです。

- ・白朮(ビャクジュツ) 健胃、整腸、利尿の効果がある。
- ・山椒(サンショウ) 腹痛や下痢、嘔吐を抑え、胃の調子を整える効果がある。
- ・桔梗(キキョウ) 止咳、去痰、排膿の効果がある。
- ・肉桂(ニッケイ) 発汗、健胃の効果がある。
- ・防風(ポウフウ) 発汗、解熱、鎮痛の効果がある。
- ・陳皮(チンピ) 健胃、去痰、理気の効果がある。



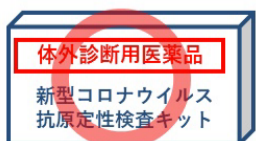
含まれる生薬からも分かるように、本来このお屠蘇は、冬場にかかりやすい風邪などの感染症や胃腸障害の予防・治療の目的があります。お酒の飲み過ぎには注意しつつ今年一年健康に過ごしましょう！

新型コロナの抗原定性検査キットは「医療用」または「一般用」をご使用ください

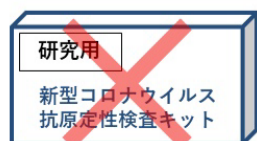
家庭等において、体調が気になる場合等にセルフチェックとして自ら検査するために用いる「新型コロナウイルス感染症抗原定性検査キット」(以下「検査キット」)には、「医療用」と「一般用」の2種類あり、いずれも厚生労働省が承認した「医薬品」(体外診断用医薬品)です。薬局又は店舗販売業(いわゆるドラッグストア)で購入することができます。

検査キットの種類(見分け方)	業種	購入場所(※2)
医療用検査キット (外箱に「体外診断用医薬品」と記載)	薬局	実店舗
一般用検査キット (外箱に「第1類医薬品」と記載)	薬局 店舗販売業	実店舗(一部の店舗では、インターネット等でも購入できます。)

雑貨店やネットショップ等で「研究用」と称して販売されている検査キットは、厚生労働省が承認した医薬品ではありません。「研究用」は、新型コロナウイルス感染の有無を調べることを目的としたものではないので、研究用の抗原定性検査キットで陽性となっても陽性者登録等はできません。



・購入時に薬剤師から使い方などについて説明があります。



・「医薬品」との表示はありません

(注) ○×は承認の有無を示します。

糖尿病の研修会を受講しました

12月7日に行われた鳥栖・三神地区の糖尿病のWeb研修会に参加しました。

今回の研修会は歯科の先生に「糖尿病と歯周病の関係」を中心にお話しいただきました。

「人は歯が悪いと食べやすいものを食べる傾向があり、炭水化物の摂取が増え、糖尿病のリスクになる」「糖尿病になると免疫力の低下により口腔内の細菌が繁殖しやすくなり歯周病になりやすくなる」というお話があり、糖尿病と歯科は切っても切れない関係にあるとあらためて感じました。

最近では、歯周病の治療によりインスリン抵抗性(インスリンが効きにくくなること)が改善し、血糖コントロールが改善するというデータもあるようです。

また、先生によると、糖尿病がない方のメンテナンス(治療ではない定期的な受診)は半年に1回程度、糖尿病の方は歯の治療中でなくても2~3ヶ月に1回はメンテナンスに受診したほうがいいということでした。



ヒートショックに要注意！

ヒートショックとは？

気温、温度の変化によって血圧が激しく上下し、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの心臓や血管の疾患が起こることをヒートショックと言います。入浴中の死亡者数は年間1万9千人いるとも推計され、お風呂で多くの方が亡くなっていることが分かります。これには転倒等の理由も含まれていますが、気温が下がる冬場には、入浴中の死亡数はその他の時期と比べて何倍にもなっていることから、入浴事故には、ヒートショックの影響が大きいと推測することができます。

11月～2月までの時期はヒートショックの好発時期と言われています。

ヒートショックを起こしやすい人

- 病歴、持病
狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞、不整脈、高血圧、糖尿病
- 年齢 65歳以上
- 習慣
・一番風呂に入る
・熱いお風呂(42℃以上)に入る
・飲酒後にお風呂に入る
- 環境
・浴室、脱衣所、トイレに暖房がない
・浴室がタイル張りで窓がある
・居間と浴室が離れている



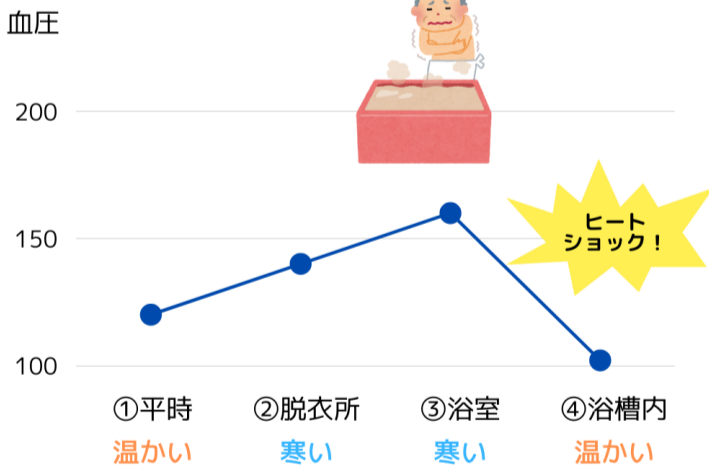
ヒートショックが起きるしくみ

ヒートショックは冬場に暖房の効いたリビングから脱衣所に移動し、浴槽に入るときなどに起こります。

平時に血圧が安定している人でも①、リビングから脱衣所に移動した際には、寒さに対応するために**血圧が上昇**し②、衣服を脱ぎ、さらに寒い浴室へ入ると**血圧はさらに上昇**します③。

そのまま浴槽に入ると、急に身体が温まるため**血圧が下降**しヒートショックを引き起こします④。

特に10℃以上の温度差がある場所は危険とされており、注意が必要です。



ヒートショックを予防するために

●脱衣所、浴室を温める

暖房器具を使用して脱衣所や浴室を温めるようにしましょう。タイル張りの浴室の場合はスノコやマットを使用しましょう。

●お風呂の温度を低めにする

41℃以上になると浴室での事故が増えると報告されています。38～40℃に設定して入浴し、徐々に温めるようにしましょう。

●ゆっくりお風呂から出るようにする

お風呂に浸かり温まっている時は血圧が低下しているので急に立ち上がるとめまいや立ちくらみを起こすことがあります。ゆっくり立ち上がるよう心がけましょう。

●入浴前後に水分を補給する

入浴して汗をかくと体内の水分が減り血液が濃縮されるため心疾患や脳血管疾患を起こしやすくなります。入浴前後に水分をとるようにしましょう。



鳥栖三養基薬剤師会会営薬局

電話番号

0942-94-9100

時間外連絡先

080-8362-4585

住所

佐賀県三養基郡みやき町原古賀7019-11

営業時間

月～金曜 9:00～18:00 土曜 9:00～13:00

定休日

日曜日、祝日

